

事前評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成22年10月8日(金)

研究課題	生物利用型水質浄化システムの構築と応用に関する研究	
研究期間	平成23年度～25年度	
	評価項目	平均点
	研究の背景	3.4
	研究目的の妥当性	3.4
	研究内容の合理性・新規性	3.0
	研究予算の妥当性	2.8
	目的達成の可能性	3.6
	期待される研究成果	3.6
	予備研究の状況	3.6
	総合評点	3.2
<p>本研究は、先行研究(H.20～22年度)の成果をさらに発展するものであり、生態工学に基づく、環境負荷の無い水質浄化法の確立と普及の面で期待が大きい。加えて、バイオマスの堆肥化も新しい発想として評価される。その一方で、実際の水質浄化の評価において、窒素、りん、COD、などの定量的な面からの検討方法も加味し、水循環システムを意識した研究に展開してほしい。この点では、既に水質浄化法について報告されている内容・成果を含む文献についても把握し、一層綿密な研究計画を立て、期待に応じてほしい。</p>		